

鹿児島大学との共同研究（スマート漁業）について

令和5年8月25日 水産技術開発センター

令和5年7月から、県内漁船漁業のスマート化を目的に、鹿児島大学との共同研究を開始しました。

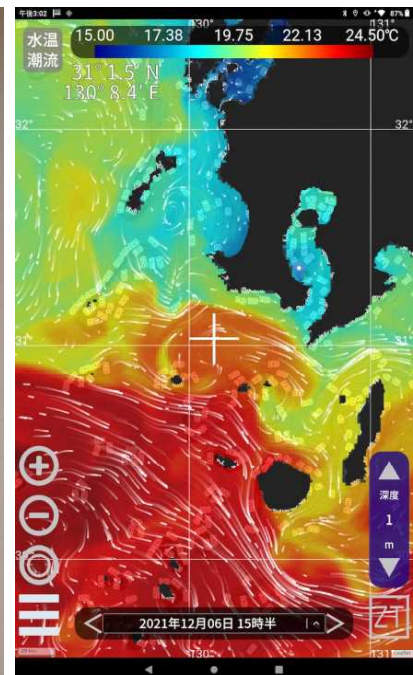
漁船漁業のスマート化とは、デジタル技術を駆使して操業時間や燃油消費量などのコスト削減を目指す取組です。

本共同研究では、鹿児島大学水産学部、同理工学研究科、当センターの3研究機関が一体となって、数日先の県内各海域の海水温、塩分、潮流や漁場を予測する技術を開発し、スマホアプリの制作を目指します。

これらの技術によって適切な漁場へアクセスしやすくなり、漁場選びにかかるコスト削減、漁家経営の安定化が図られます。



8/22 記者発表の様様



制作するアプリのイメージ